

図3-6 活動でどんなことに満足したか

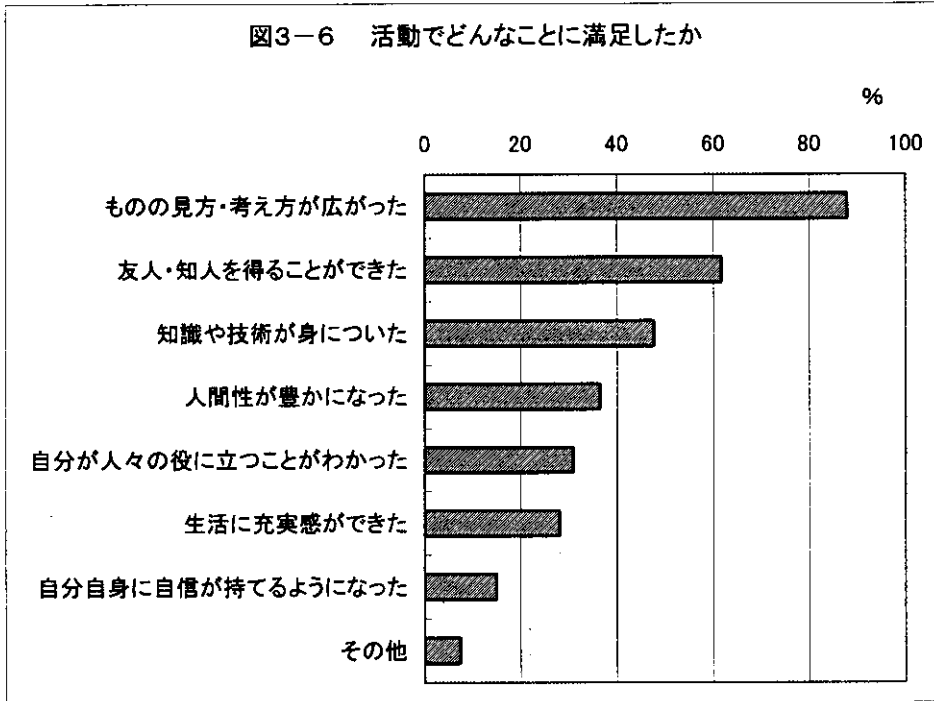
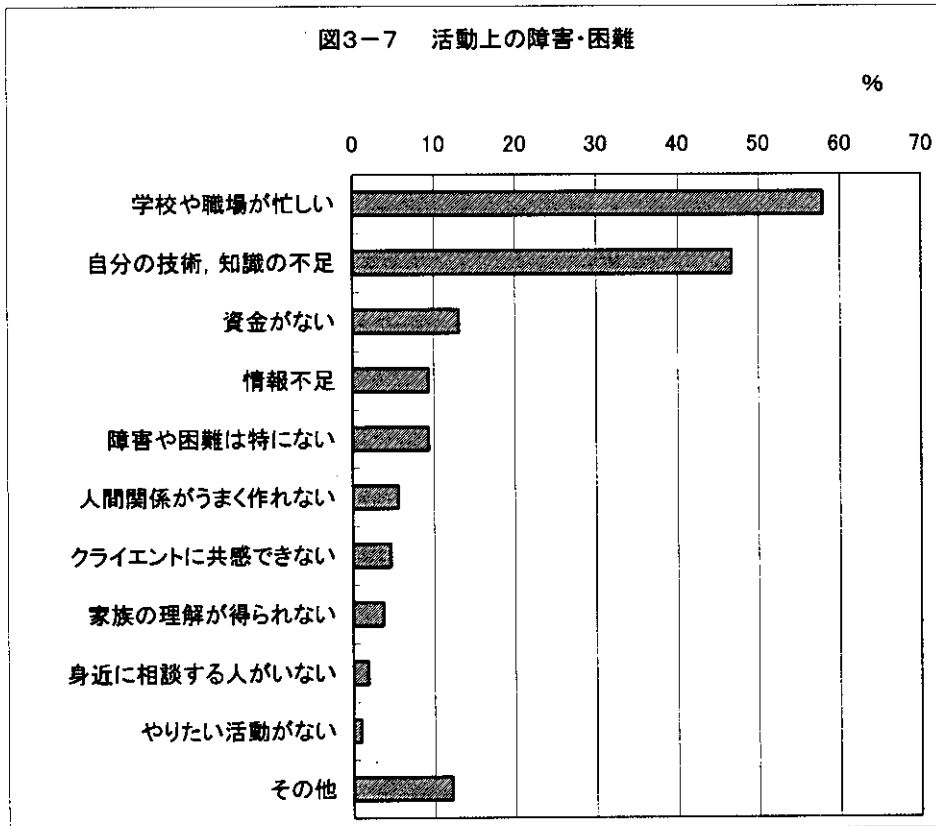


図3-7 活動上の障害・困難



次にくるのが「ケアサポート研修」と「不安症対応研修」で、2割ほどの人が受けている（図2-7）。

「これまで知らなかった活動」について自由記述を求めた設問への回答では、「電話相談」「36時間電話相談」「アウトリーチ」などが多かった。また「電話相談が委託事業になっていること」や「裁判支援」「調査研究」を挙げる人もいた。

3. AIDS-NGO 構成員の学業・仕事

AIDS/NGO でのボランティア活動と自分の学業や仕事と関係について尋ねた設問では、「はい」（関係がある）と回答した人が65%であった（図3-1）。一方、35%の人は学業や仕事と関係ない分野のボランティア活動をしているということであるが、AIDS-NGO の活動が専門的知識を必要とするため、仕事や学業が AIDS と関係ある者が多く活動に参加していることを反映していると考えられる。

「ボランティア活動と学業・仕事との両立ができるか」ということを尋ねる設問についても、「はい」（両立できる）という回答が88%にのぼり、ボランティアのほとんどが両立させるよう努力していることがうかがわれた（図3-2）。

図3-3は、ボランティア活動で自分のどんなところを活かしたいかを尋ねた設問への回答（複数回答）内容である。「社会的な問題への関心や意欲」と回答した人が70%と極めて多かった。「知識」や「資格など専門的能力」と回答した人も4割前後であった。「当事者（PWA/Hに限らない）であること」を選んだのは10%強であった。

図3-4は、ボランティア活動について不満なことがあるかどうかを訊いた設問への回答であり、3分の1が何らかの不満を持っており、3分の2は不満がない。不満の

内容としては様々だが、仕事などが忙しくてボランティア活動のための時間が取れない、ということが目立つ。

現在のボランティア活動に対する満足度を「0」（満足していない）から「5」（満足している）までの範囲で尋ねた設問の回答を図3-5に示す。2以上3以下という中間レベルの回答が29%と最も多かった。また、4以上5までの人は8%であった。満足度が0~1という低レベルの状況も、無視できない割合であった。

図3-6は、ボランティア活動によってどんなことに満足したかということについての設問への回答（複数回答）である。「ものの見方・考え方が広がった」と答えている人が9割近くあり、極めて多かった。「友人・知人を得ることができた」が6割以上、「知識や技術が身についた」が5割弱であった。「人間性が豊かになった」は4割弱、「自分が人々の役にたつことがわかった」「生活に充実感ができた」がそれぞれ約3割であった。「自分自身に自信がもてるようになった」は2割弱であった。

図3-7は、ボランティア活動をする上での障害や困難についての回答（複数回答）である。「学校や職場が忙しい」「自分の技術、知識の不足」の2つを半数前後の人が選んでおり、飛びぬけて多い。その他の項目については1割前後から1割以下になっている。

これらの障害克服するためにできることについて自由記述を求めたところ、さまざまなものが挙げられているが、時間的なことについては、スケジュールを早く決めたり、合理的に時間を活用したり、ということがあった。自分の技術や知識については、勉強したり教えてもらったり、研修にたくさん参加するなどの回答があった。

4. AIDS-NGO 構成員の意識の変化

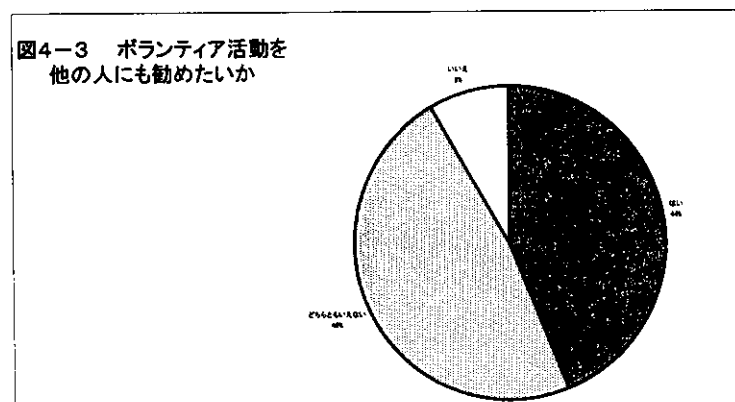
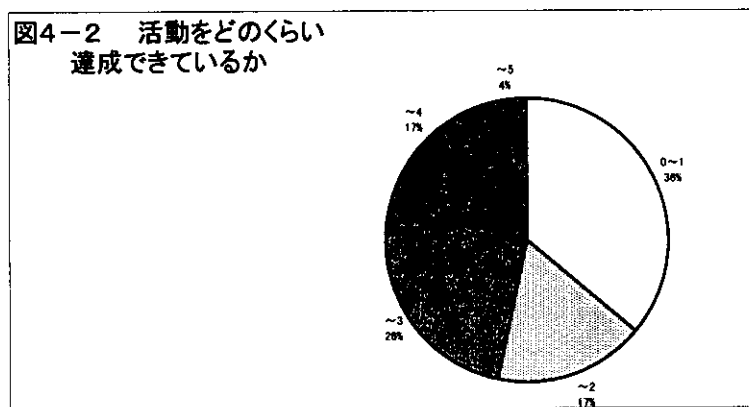
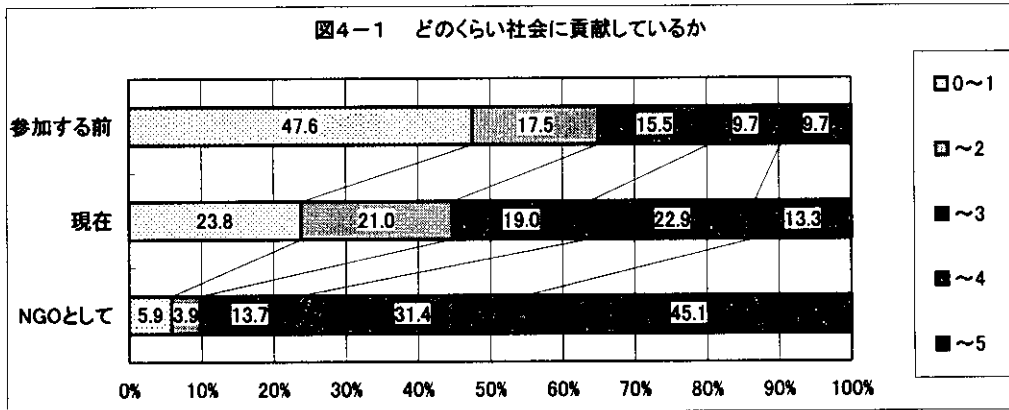


図4-4 ボランティア活動のことを誰かに伝えたか

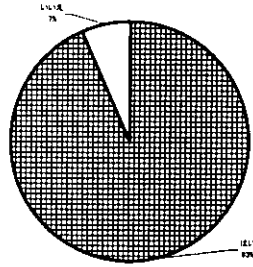


図4-5 誰に伝えたか

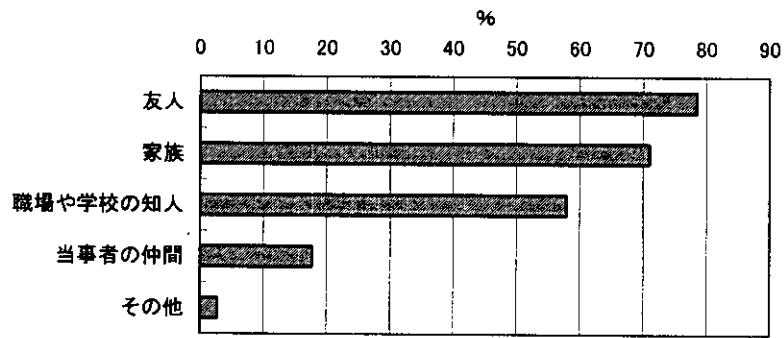
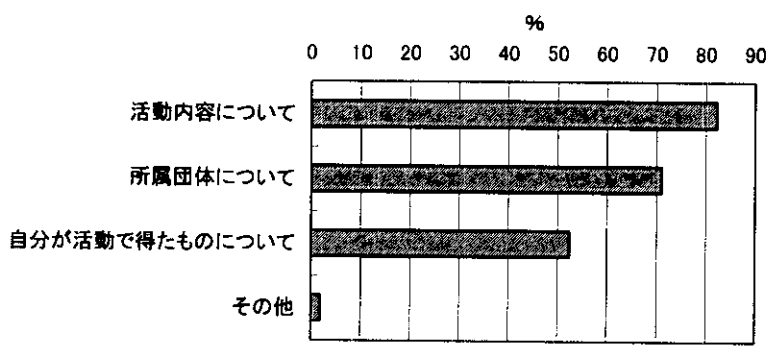


図4-6 どのようなことを伝えたか



社会への貢献度について、「参加する前の自分」、「現在（参加している自分）」ならびに「NGOとして」という3つについて0（貢献していない）～5（貢献している）の範囲で訊いた設問への回答分布を図4-1に示す。参加する前は1以下の人が半数近くいたのに対し、参加している現在は25%弱と確実に社会への貢献を感じているようである。NGOとしては、さらに得点が高くなり、4以上の高い得点を与えている人が半数近くあり、NGOとしての社会的貢献を支持する結果が示された。

「自分のやりたい活動をどのくらい達成できていると思うか」について、0（達成できていない）～5（達成できている）の範囲で訊いた設問への回答分布を図4-2に示す。回答分布で最も多いのは「0～1」という回答で36%であり、次に多かったのが「2～3」で26%であった。「1～2」および「3～4」はともに17%で、「4～5」に該当する回答は4%であった。

図4-3は、参加しているボランティア活動を他人に勧めたいと思うかということについての設問への回答割合である。「どちらともいえない」と答えた人が48%と最も多かった。一方「勧めたい」の人も44%と僅差で続いた。「勧めたくない」と回答した人は8%にとどまった。

ボランティア活動に参加していることを誰かに伝えたかどうかに関する設問に対する回答（図4-4）では、「伝えた」と回答している人が93%にのぼり、ほとんどの人が誰かに伝えている。

図4-5は、誰に伝えたかについて複数回答で訊いた設問の回答内容で、「友人」が最も多かったが、続く「家族」「職場や学校の知人」も半数を超えていた。「当事者の仲間」に伝えた人は2割弱であった。

図4-6は、どのような内容を伝えたかに

ついて複数回答で訊いた設問である。「活動内容について」が最も多く80%強、少なかった「所属団体について」も半数を超えた。

5. AIDS-NGO 構成員の自己評価

図5-1は、「現在のボランティア活動を始めてから、どんな面で変化があったか」についての設問の回答者（複数回答）の割合である。回答割合が大きい順に上位の3つ、つまり「偏見や差別など社会のいろいろな状況に気づいた」「プライバシーに配慮するようになった」「他の人の話をよく聴けるようになった」という回答はいずれも半数以上の人を選択している。続く3つの「他の人の心を受け止めることができるようになった」「自分への気づきになった」「専門知識が身についた」という回答についても、ほぼ半数前後の人が選択している。「他の人の気持ちによく気づけるようになった」「HIV以外の困難を持つ人に配慮するようになった」は約4割であり、「自分自身が精神的に豊かになった」「他の人と話し合えるようになった」「自分の健康に注意するようになった」「他人を大切にするようになった」「自分を大切にするようになった」「他の人と信頼関係を気づくことができるようになった」「活動に責任をもつことができるようになった」「喜びや楽しみを発見した」などが、2～3割であり、活動を通じて社会的な関心が深まり、現実を見つめ、職場や学校では得られない経験を通じて自分自身の成長につながっていることが、これらの回答から見て取れた。

図5-2は、ボランティア活動についてのイメージを訊いた設問にたいする、参加する前と参加後の回答内容をともに示したものである。回答が増加した内容もあれば、減少した内容もある。参加後に回答が増加したイメージとして「責任感」「勉強になる」

図5-1 活動を始めてどんな面で変化があったか

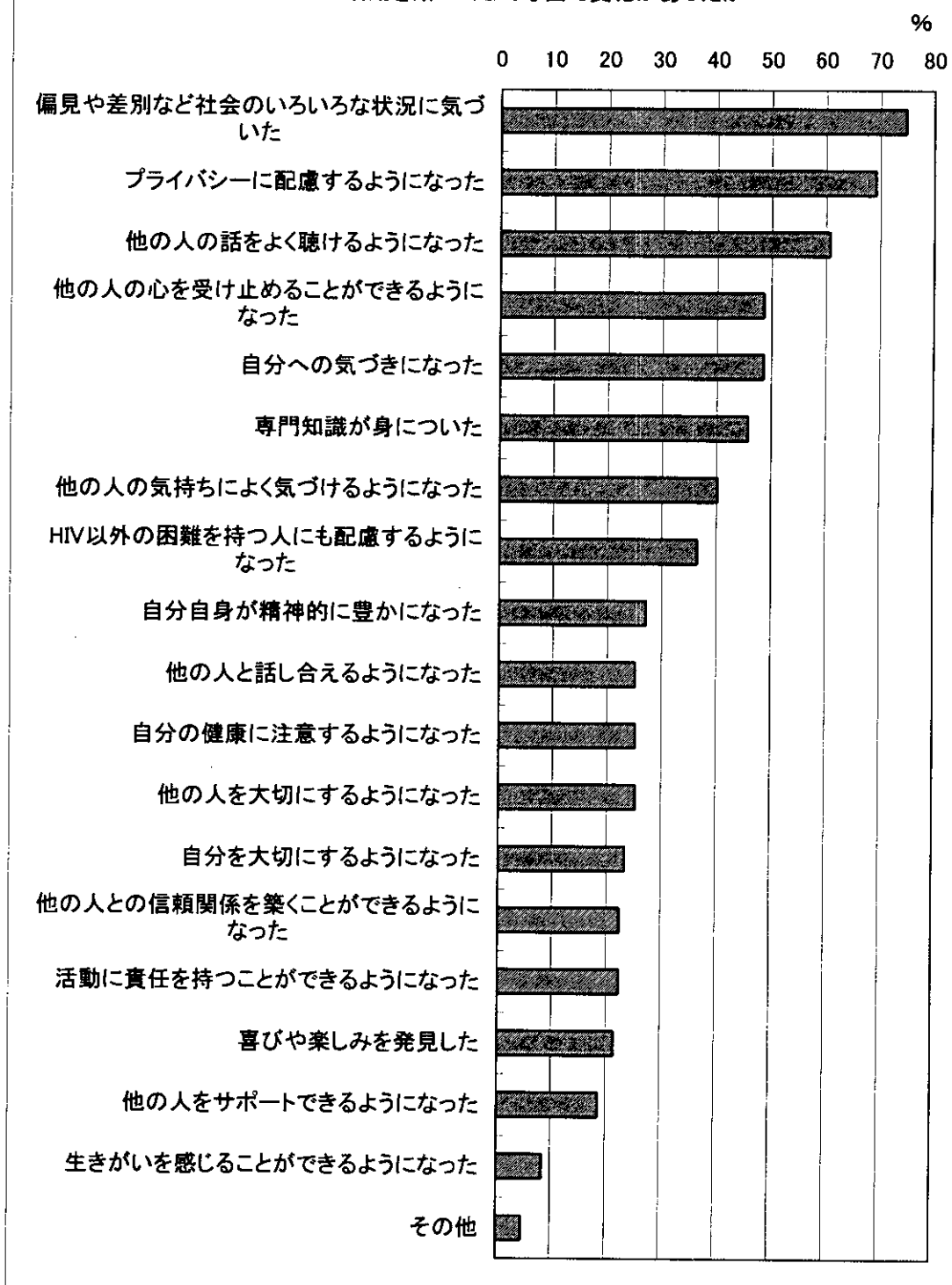


図5-2 参加前後のイメージの変化

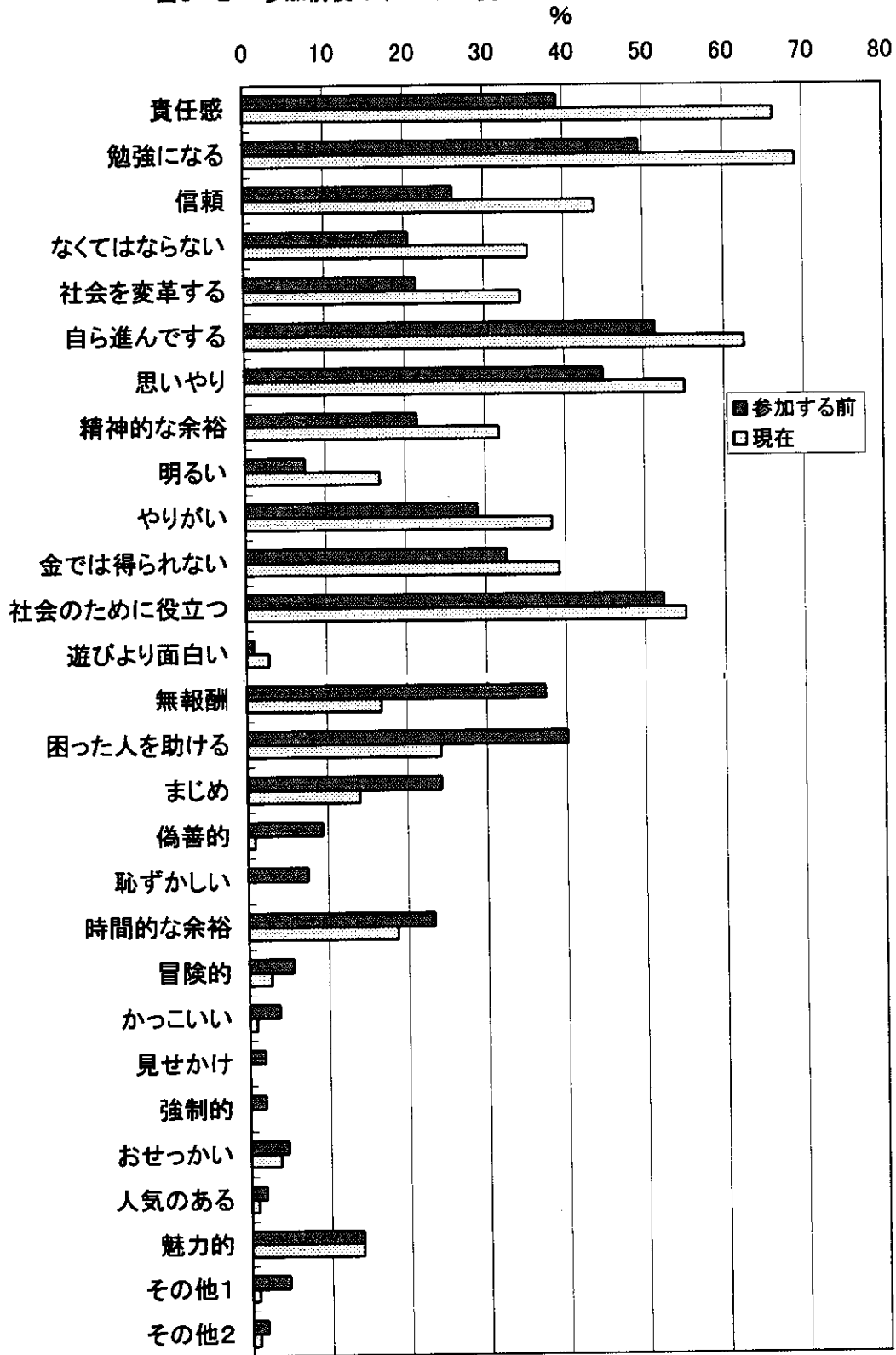


図5-3 増加したボランティア活動のイメージ

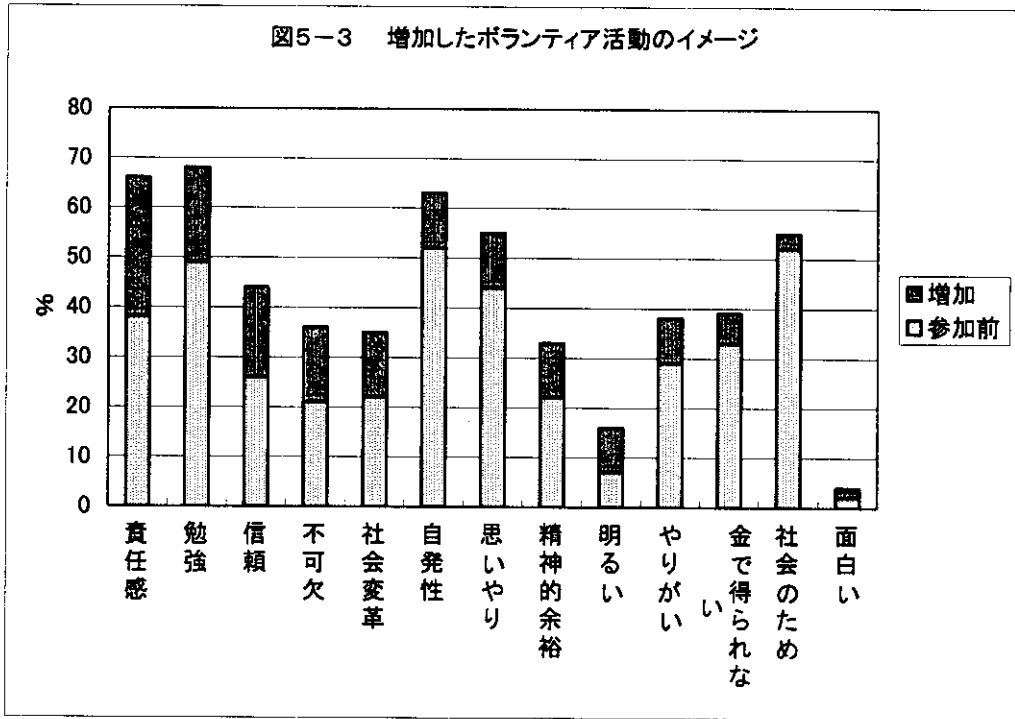


図5-4 減少したボランティア活動のイメージ

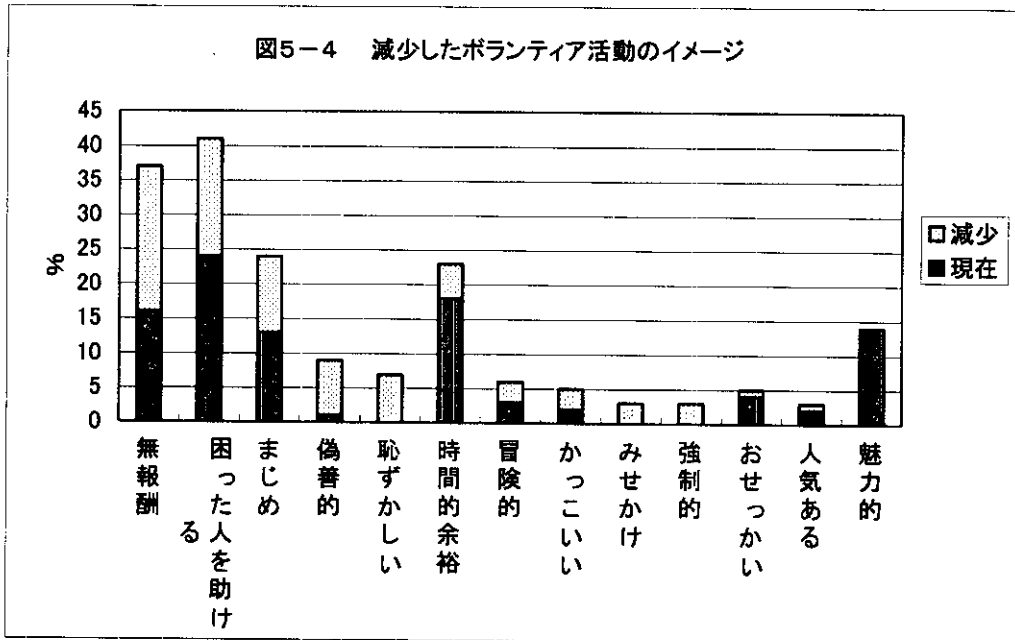
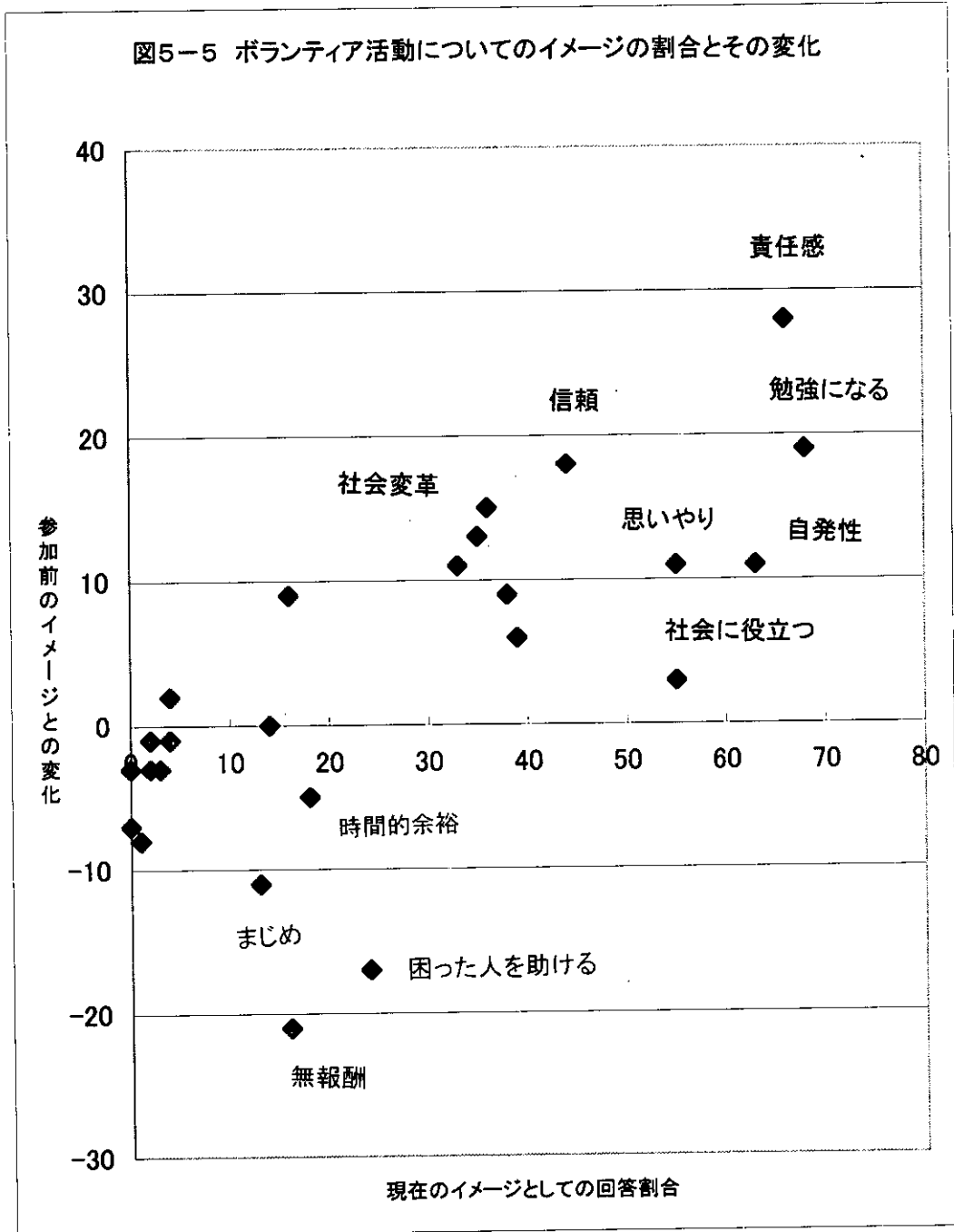


図5-5 ボランティア活動についてのイメージの割合とその変化



「信頼」などがあつた(図5-3)。逆に参加してから減少したイメージには「無報酬」「困った人を助ける」「まじめ」などがあつた(図5-4)。減少したイメージに挙げられている上記の3つの内容は、一般的にボランティア活動について持たれているイメージに近いと思われるが、実際に参加してみると、責任や主体的な人間関係になくならないものなどがイメージとして増加してきているということを反映しているといえよう(図5-5)。

図5-6は、ボランティア活動に関することで行政や公共機関に対してどんな要望があるか、ということを知った設問(複数回答)への回答の割合である。「経済的援助」「情報の提供」が7割近くと最も多かつた。「活動場所を確保しやすくする」「活動に関する教育を広める」も半数前後の回答があつた。「リーダーの育成に対する援助」「希望者に対する研修会」「活動に関する相談」なども40%弱が回答しており、「事故に対する保険」が20%を占めている。行政に対する期待が大きいことが伺えた。

D. 結論

全国のAIDS-NGO構成員の65%については活動が学業・仕事と関連があり、88%は「活動が学業・仕事と両立できる」と回答するなど、NGO活動において仕事と関連する分野に従事している構成員が多いことが示された。

NGOとしての活動開始の前後のボランティア活動に対する認識は、「無報酬」「人を助ける」「偽善的」というイメージが減少し、「責任」「信頼」「社会変革」という主体的なイメージが増加しており、またNGOとしての社会貢献度に高い評価を与えていることや「ものの見方・考え方が広がつた」「知識や技術が身についた」「人間性が豊か

になつた」「自分が人々の役にたつことがわかつた」などの回答がみられることから、ボランティア活動を通じて、構成員の認識や意識が変化していることがうかがわれた。

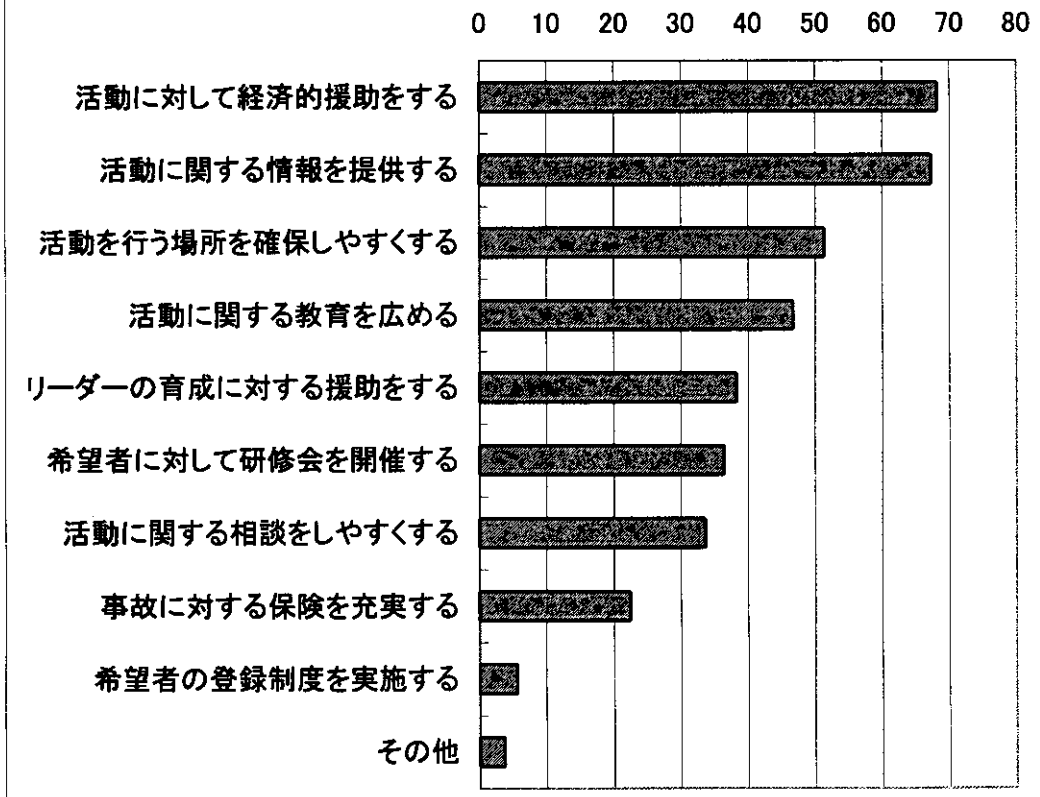
また、「偏見や差別など社会のいろいろな状況に気づいた」「プライバシーに配慮」「他の人の話をよく聴けるようになった」「他の人の心を受け止めることができるようになった」「他の人の気持ちによく気づけるようになった」「HIV以外の困難を持つ人に配慮するようになった」などの回答、「自分自身が精神的に豊かになつた」「他の人と話し合えるようになった」「自分の健康に注意するようになった」「他の人を大切にするようになった」「自分を大切にするようになった」「他の人と信頼関係を気づくことができるようになった」「活動に責任をもつことができるようになった」「喜びや楽しみを発見した」などの回答は、活動を通じて構成員が自分自身の成長をも自覚していることを反映している。

本調査の回答者は8割以上が研修に参加しており、また圧倒的多数が学業・仕事との関連や両立を認めていることは、AIDS-NGOとその構成員が社会資源としての可能性が大きいことを示唆している。

F. 健康危険情報

なし

図5-6 行政・公的機関への要望 %



AIDS/NGO メンバーの活動の現況に関する調査へのご協力をお願い

拝啓

暑い日が続いています。いかがお過ごしでいらっしゃいますか。

さて当研究班は昨年度、AIDS/NGO の活動の状況と保健所等による AIDS/NGO の活用状況の調査を行い、その結果は厚生科学研究事業報告として発表していますが、引き続き今年度は、AIDS/NGO の構成員を対象とする調査を行うことになりました。

本調査は、AIDS/NGO を支えるボランティアの社会的役割を明らかにし、NGO が重要な社会資源として理解され、広く活用されることを目的として行うものです。本調査は全国の各 AIDS/NGO の構成員をも対象として実施する予定ですが、その結果を厚生労働省の研究事業報告として発表することにより、政府ならびに自治体のこれからの AIDS 対策における NGO やボランティアの役割を強化することに資するものと期待されます。

つきましては本調査の主旨をご理解いただき、本調査にご協力下さいますよう、お願い申し上げます。アンケートは無記名ですので、忌憚のないご意見をお寄せ下さい。

お忙しい中、誠にとおそれいりますが、別紙のアンケート票にご記入いただき、**8月11日(必着)**までに返信用封筒にて下記宛にご返送いただければ幸いです。

ご協力よろしく願いいたします。なおご不明の点は、下記にお問い合わせ下さい。時節柄、くれぐれもご自愛くださいませ。

敬具

平成 13 年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業

「エイズに関する普及啓発における非政府組織 (NGO) の活用に関する研究」

主任研究者 五島 真理 為

(特定非営利活動法人 HIV と人権・情報センター全国事務局長)

返信/問合わせ先

〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-2-2 吉田ビル 2F
特定非営利活動法人 HIV と人権・情報センター東京支部
TEL/FAX 03-5259-0622 (担当: 平松)

AIDS/NGOメンバーの活動の現況に関するアンケート

<p>質問 1</p>	<p>あなたは、どのようなきっかけでエイズボランティア活動を始めましたか？ 最もよくあてはまる番号 1 つに○をつけてください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の自発的な意志 2. 友人，知人にすすめられて 3. 家族や親戚の勧め 4. 知り合いが PWA/H だったから 5. その他 <p>()</p>																						
<p>質問 2</p>	<p>あなたが今ボランティア活動をしている団体のことを、あなたはどこで知りましたか？ あてはまるものすべてに○をつけて下さい。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 友人から 2. 新聞で 3. 雑誌で 4. テレビで 5. パンフレットで 6. インターネットで 7. ボランティアセンターで 8. 研修会，講習会，催し物などに参加して 9. 学校や職場で参加機会があった 10. 地域からの呼びかけ 11. 所属する団体の活動として 12. 福祉，教育などの施設の呼びかけ 13. その他 <p>()</p>																						
<p>質問 3</p>	<p>あなたがボランティア活動に参加する動機は何ですか？ よくあてはまるものを 3 つ選び、() の中に 1 位から 3 位まで順位をつけてください。</p>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;"></th> <th style="text-align: right; vertical-align: bottom;">順 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 困っている人の手助けをしたいから</td> <td style="text-align: right;">()</td> </tr> <tr> <td>2. 自分が関心を持っている分野だから</td> <td style="text-align: right;">()</td> </tr> <tr> <td>3. 新しい人と出会いたいから</td> <td style="text-align: right;">()</td> </tr> <tr> <td>4. 新たな知識や技術を得ることができるから</td> <td style="text-align: right;">()</td> </tr> <tr> <td>5. 自分自身の成長につながると思うから</td> <td style="text-align: right;">()</td> </tr> <tr> <td>6. 自分のやりたいことを発見したいから</td> <td style="text-align: right;">()</td> </tr> <tr> <td>7. 新しく感動できる体験をしたいから</td> <td style="text-align: right;">()</td> </tr> <tr> <td>8. 自分の知識や経験を活かしたいから</td> <td style="text-align: right;">()</td> </tr> <tr> <td>9. 差別をなくすなど社会を変革したいから</td> <td style="text-align: right;">()</td> </tr> <tr> <td>10. その他 ()</td> <td style="text-align: right;">()</td> </tr> </tbody> </table>		順 位	1. 困っている人の手助けをしたいから	()	2. 自分が関心を持っている分野だから	()	3. 新しい人と出会いたいから	()	4. 新たな知識や技術を得ることができるから	()	5. 自分自身の成長につながると思うから	()	6. 自分のやりたいことを発見したいから	()	7. 新しく感動できる体験をしたいから	()	8. 自分の知識や経験を活かしたいから	()	9. 差別をなくすなど社会を変革したいから	()	10. その他 ()	()
	順 位																							
1. 困っている人の手助けをしたいから	()																							
2. 自分が関心を持っている分野だから	()																							
3. 新しい人と出会いたいから	()																							
4. 新たな知識や技術を得ることができるから	()																							
5. 自分自身の成長につながると思うから	()																							
6. 自分のやりたいことを発見したいから	()																							
7. 新しく感動できる体験をしたいから	()																							
8. 自分の知識や経験を活かしたいから	()																							
9. 差別をなくすなど社会を変革したいから	()																							
10. その他 ()	()																							

質問 4	<p>あなたは主 どの分野で活 動しています か？</p> <p>あてはまる 番号のすべて に○をつけて 下さい。</p>	<p>◆PWA/H およびその関係者を対象とする活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 常設電話相談 2. 期間限定の電話相談(36時間などイベント電話相談) 3. カウンセリング 4. 直接ケア 5. パディ活動 6. 福祉手続きの支援 7. 通訳 8. 配食サービスや栄養支援 9. リビングセンターでの活動 10. シェルターでの活動 11. 自助活動 12. 学習会の開催 13. 裁判支援 14. インターネットを利用した情報提供や交流 15. 人権救済 16. パンフレット・書籍・ニュースレター等の発行(翻訳含む) 17. 調査研究 18. キルト作成 19. 募金などによる資金援助活動 20. 他団体への協力や支援 21. 行政交渉や議会への働きかけ 22. その他 () <p>◆一般市民を対象とする活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 常設電話相談 2. 期間限定の電話相談(36時間などイベント電話相談) 3. カウンセリング 4. 研修会の企画事業 5. 講演活動 6. 通訳 7. 公開学習会や講演会の開催 8. イベントやシンポジウム開催 9. インターネットを利用した情報提供や交流 10. 裁判支援 11. パンフレット・書籍・ニュースレター等の発行(翻訳含む) 12. 人権救済 13. ポスター・グッズの作製 14. 街頭活動(アウトリーチ) 15. 調査研 16. キルトによる啓発 17. 他団体への協力や支援 18. 行政交渉や議会への働きかけ 19. その他 () <p>◆その他の活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 組織運営 2. 専門知識の提供 3. 事務作業など 4. その他 ()
質問 5	<p>あなたはどのくらいの頻度でボ ランティア活動に参加していま すか？</p> <p>() 内にご記入ください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ毎日…1日平均 () 時間 2. 週に平均 () 回 3. 月に平均 () 回 4. 年に平均 () 回 5. その他 ()
質問 6	<p>あなたは主にどんな時間帯にボ ランティア活動をしています か？</p> <p>あてはまる番号の全てに○を つけてください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校・職場の休日 2. 夜間 3. 日中 4. 長期休暇 5. その他 ()
質問 7	<p>あなたのこれまでの 活動について、おお まかな実績を教えて ください。</p> <p>あてはまる項目の () 内にご記入 ください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 常設電話相談(頻度 , 期間 , または 回) 2. 期間限定の電話相談(例えば36時間電話相談) (回) 3. 街頭コンドーム配布などのアウトリーチ (回) 4. イベント参加 (回) 5. 啓発活動(YSPなど) (回) 6. ケアサポート (回) 7. 通訳 (回) 8. 調査研究(日数 日) 9. 裁判支援 (回) 10. その他 ()

質問 8	あなたはいつ頃から現在のボランティア活動に参加していますか？	年 月頃から
質問 9	あなたは、現在のボランティア活動の中でどのような研修に参加しましたか？	()
質問 10	現在あなたが参加している NGO の活動で、参加するまで知らなかった活動を挙げてください。	()
質問 11	あなたの AIDS/NGO でのボランティア活動は、学業や仕事の内容と関係がありますか？	(はい ・ いいえ)
質問 12	ボランティア活動とあなたの学業・仕事とは両立できると思いますか？	(はい ・ いいえ)
質問 13	あなたはボランティア活動の中で、自分のどういうところを活かしたいと思いますか？ あてはまる番号のすべてに○をつけて下さい。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会的な問題への関心や意欲 2. 知識 3. 資格などの専門的能力 4. 学校での専攻内容 5. 時間的余裕があること 6. 当事者であるということ (例えば PWA/H, セクシャル・マイノリティ, 血友病, 若者, 感染不安経験者, …など) 7. その他 ()
質問 14	あなたは、自分が現在しているボランティア活動に満足していますか？ もっともよくあてはまると思う位置に○をつけて下さい。	<p>満足していない 満足している</p> <p style="text-align: center;"> ----- ----- ----- ----- </p>
質問 15	あなたはボランティア活動によって、どんなことに満足しましたか？ あてはまるものにすべて○をつけてください。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ものの見方・考え方が広がった 2. 友人・知人を得ることができた 3. 人間性が豊かになった 4. 生活に充実感ができた 5. 知識や技術が身についた 6. 自分が人々の役にたつことがわかった 7. 自分自身に自信がもてるようになった 8. その他 ()

<p>質問 19</p>	<p>あなたは、活動に参加する前に、現在のボランティア活動についてどのようなイメージを持っていましたか？ また、現在はどのようなイメージを持っていますか？</p> <p>よくあてはまるものを選び、「参加する前」と「現在」の、それぞれのうち 10 個以内に○をつけてください。</p>	<table border="0"> <thead> <tr> <th></th> <th>参加する前</th> <th>現在</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1. 思いやり</td><td>()</td><td>()</td></tr> <tr><td>2. 魅力的</td><td>()</td><td>()</td></tr> <tr><td>3. 信頼</td><td>()</td><td>()</td></tr> <tr><td>4. 見せかけ</td><td>()</td><td>()</td></tr> <tr><td>5. 人気のある</td><td>()</td><td>()</td></tr> <tr><td>6. 遊びより面白い</td><td>()</td><td>()</td></tr> <tr><td>7. 責任感</td><td>()</td><td>()</td></tr> <tr><td>8. おせっかい</td><td>()</td><td>()</td></tr> <tr><td>9. やりがい</td><td>()</td><td>()</td></tr> <tr><td>10. 冒険的</td><td>()</td><td>()</td></tr> <tr><td>11. 勉強になる</td><td>()</td><td>()</td></tr> <tr><td>12. カッコいい</td><td>()</td><td>()</td></tr> <tr><td>13. 恥ずかしい</td><td>()</td><td>()</td></tr> <tr><td>14. 明るい</td><td>()</td><td>()</td></tr> <tr><td>15. 偽善的</td><td>()</td><td>()</td></tr> <tr><td>16. 精神的な余裕</td><td>()</td><td>()</td></tr> <tr><td>17. 時間的な余裕</td><td>()</td><td>()</td></tr> <tr><td>18. まじめ</td><td>()</td><td>()</td></tr> <tr><td>19. なくてはならない</td><td>()</td><td>()</td></tr> <tr><td>20. 金では得られない</td><td>()</td><td>()</td></tr> <tr><td>21. 困った人を助ける</td><td>()</td><td>()</td></tr> <tr><td>22. 無報酬</td><td>()</td><td>()</td></tr> <tr><td>23. 強制的</td><td>()</td><td>()</td></tr> <tr><td>24. 社会のために役立つ</td><td>()</td><td>()</td></tr> <tr><td>25. 自ら進んでする</td><td>()</td><td>()</td></tr> <tr><td>26. 社会を変革する</td><td>()</td><td>()</td></tr> <tr><td>27. その他</td><td>()</td><td>()</td></tr> <tr><td>()</td><td>()</td><td>()</td></tr> <tr><td>()</td><td>()</td><td>()</td></tr> </tbody> </table>		参加する前	現在	1. 思いやり	()	()	2. 魅力的	()	()	3. 信頼	()	()	4. 見せかけ	()	()	5. 人気のある	()	()	6. 遊びより面白い	()	()	7. 責任感	()	()	8. おせっかい	()	()	9. やりがい	()	()	10. 冒険的	()	()	11. 勉強になる	()	()	12. カッコいい	()	()	13. 恥ずかしい	()	()	14. 明るい	()	()	15. 偽善的	()	()	16. 精神的な余裕	()	()	17. 時間的な余裕	()	()	18. まじめ	()	()	19. なくてはならない	()	()	20. 金では得られない	()	()	21. 困った人を助ける	()	()	22. 無報酬	()	()	23. 強制的	()	()	24. 社会のために役立つ	()	()	25. 自ら進んでする	()	()	26. 社会を変革する	()	()	27. その他	()	()	()	()	()	()	()	()
	参加する前	現在																																																																																										
1. 思いやり	()	()																																																																																										
2. 魅力的	()	()																																																																																										
3. 信頼	()	()																																																																																										
4. 見せかけ	()	()																																																																																										
5. 人気のある	()	()																																																																																										
6. 遊びより面白い	()	()																																																																																										
7. 責任感	()	()																																																																																										
8. おせっかい	()	()																																																																																										
9. やりがい	()	()																																																																																										
10. 冒険的	()	()																																																																																										
11. 勉強になる	()	()																																																																																										
12. カッコいい	()	()																																																																																										
13. 恥ずかしい	()	()																																																																																										
14. 明るい	()	()																																																																																										
15. 偽善的	()	()																																																																																										
16. 精神的な余裕	()	()																																																																																										
17. 時間的な余裕	()	()																																																																																										
18. まじめ	()	()																																																																																										
19. なくてはならない	()	()																																																																																										
20. 金では得られない	()	()																																																																																										
21. 困った人を助ける	()	()																																																																																										
22. 無報酬	()	()																																																																																										
23. 強制的	()	()																																																																																										
24. 社会のために役立つ	()	()																																																																																										
25. 自ら進んでする	()	()																																																																																										
26. 社会を変革する	()	()																																																																																										
27. その他	()	()																																																																																										
()	()	()																																																																																										
()	()	()																																																																																										
<p>質問 20</p>	<p>あなた個人や、あなたが属している NGO は、どのくらい社会に貢献していると思いますか？</p> <p>もっともよくあてはまると思う部位に○をつけて下さい。</p>	<p>あなた個人…参加する前</p> <p>┌──────────┴──────────┐ (貢献していない) (貢献している)</p> <p>あなた個人…現在</p> <p>┌──────────┴──────────┐ (貢献していない) (貢献している)</p> <p>NGOとして</p> <p>┌──────────┴──────────┐ (貢献していない) (貢献している)</p>																																																																																										
<p>質問 21</p>	<p>あなたは、自分のやりたい活動をどのくらい達成できていると思いますか？</p>	<p>┌──────────┴──────────┐ (達成できていない) (達成できている)</p>																																																																																										

質問 22	あなたは、自分がボランティア活動に参加していることを他の人にも伝えましたか？	(はい ・ いいえ)
質問 23	「はい」の人は、どのような内容を伝えましたか？ あてはまるものすべてに○をつけて下さい。	1. 所属団体について 2. 活動内容について 3. 自分が活動で得たものについて 4. その他 ()
質問 24	また、誰に伝えましたか？ あてはまるものすべてに○をつけて下さい。	1. 友人 2. 職場や学校の知人 3. 家族 4. 当事者の仲間 5. その他 ()
質問 25	あなたは、自分が参加しているボランティア活動を他の人にも勧めたいと思いますか？	(はい ・ どちらともいえない ・ いいえ)
質問 26	ボランティア活動に関することで、国や市町村などの行政や公的機関に対してどんな要望がありますか？ あてはまる番号のすべてに○をつけて下さい。	1. 活動に関する情報を提供する 2. 活動に関する相談をやすくする 3. 活動に関する教育を広める 4. 希望者に対して研修会を開催する 5. 希望者の登録制度を実施する 6. 活動に対して経済的援助をする 7. 活動を行う場所を確保しやすくする 8. 事故に対する保険を充実する 9. リーダーの育成に対する援助をする 10. その他 ()
質問 27	最後に、あなたの年齢について差し支えなければお教えてください。	1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上 9. ノーコメント

ご協力ありがとうございました。その他、ご意見があれば、下記にご記入ください

厚生科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）

分担研究報告書

エイズに関する普及啓発における非政府組織（NGO）の活用に関する研究

その2

AIDS/NGO の活動状況と保健所・行政機関による
AIDS/NGO の活用に関する分析

主任研究者	五島真理為 HIV と人権・情報センター理事長
分担研究者	新庄文明 長崎大学教授 中瀬克己 岡山市保健所医療専門監
協力研究者	堺本哲司 岡山理科大学大学院生

研究要旨

保健所および自治体による AIDS/NGO の社会資源としての認識と実際の活用には大きなずれがあり、NGO にとっては行政との連携・協力による財源は極めて少ない現状があきらかとなった。行政機関については、近隣で活動している AIDS/NGO に関する情報を持っている機関ほど NGO を活用しており、また NGO の具体的な活動内容について知っている項目が多い行政機関ほど、AIDS 啓発に力をいれているという実態も明らかとなった。一方、NGO の活動については、行政との連携による収入が財政に示す割合が多いほど、また事業委託、助成金などによる事業基盤を確立している団体ほど、活動内容が豊富であるということも明らかとなった。行政機関には情報の不足が、NGO には財政的な基盤の欠如が、それぞれ啓発活動の妨げとなっていると考えられる。また、AIDS-NGO は若者だけでなく感染者・患者等にたいしても力を入れており、若者を主な対象としている行政機関と NGO の間に活動の対象に特性の差があるということが明らかとなった。

本研究により、行政と AIDS/NGO の間で相互に特性を活かした連携体制を構築することにより、エイズに関する普及啓発がより一層進展する可能性がしめされた。

A. 研究目的

平成 12 年度の本研究において、わが国の AIDS-NGO の活動の現状および行政機関による NGO 活用に関する調査を実施した。これらの調査は、HIV 感染予防および人権

に関する啓発を国民的レベルで進めるために、NGO(非政府組織)の活動、政府、行政、教育機関等による活用の実態を明らかにするとともに NGO 活動の評価を行い、今後の NGO の資質向上と行政とのパートナーシップにもとづく NGO 機能の拡充をはか

り、NGO 活動の規範と体制、研修と育成等、NGO 活動と NGO 活用の方法論の確立をはかることを目的として実施したものである。

本年度は、これらの調査の結果をより詳細に分析し、また地方行政機関が行うエイズ普及啓発における AIDS・NGO (NGO と略記) の活用の評価を行った。これらの成果が、今後の連携やネットワークの確立、NGO 活動の資質の向上と活用の促進に資することが期待される。

B. 研究方法

昨年度に実施した「AIDS・NGO 活動における行政機関との連携の実態に関する調査」ならびに「都道府県および保健所などの行政機関による AIDS・NGO の活用の実情について調査」の結果について、より詳細な分析を行った。

(倫理面への配慮)

本研究は、感染者や当事者によるプライバシーに関する助言を得て研究を進め、それぞれの機関における事業担当者の自発的な判断を前提とし、かつ事業上に生じるプライバシー情報には触れない形で実施しているため、人権上の問題が生じる可能性はない。

C. 研究結果

1 NGO の活動の概況と行政機関との連携

1) AIDS・NGO の概況

全国の NGO のうち、AIDS に関連する活動を行っている組織は 71 団体とみられ、そのうち 55 団体から回答を得た。回答のあった団体のうち、法人格を 20% (17 団体) が獲得しており、31% (11 団体) は有給職員を雇

用していた。

会員数の総和は約 1700 名であり、「実際に活動にかかわっている会員」は 1~9 人まで 22%、10 人 20%、11~20 人まで 18%、21 人から 40 人まで 15%、41 人以上 15% であった (図 1-1-1)。また、「会費を納めている会員数」は、「10-20 人まで」が 22%、「21 - 50 人まで」が 20%、「51 - 200 人まで」が 22%であり、「200 人以上」の団体は 7%であった (図 1-1-2)。

会活動の最も大きな財源については 24%の団体が「会費」と回答している。ただし寄付・助成・委託費・事業収入のいずれかが最も大きな財源と回答している団体は 67%であった (図 1-1-3)。会運営のための活動としては 45%が資金調達活動をあげており (図 1-1-4)、活動上の困難点としても、44%が活動資金調達をあげていた (図 1-1-5)。

2) 活動内容

活動の内容は、HIV 陽性者や AIDS 患者 (PWA/H) を対象とするものとしては「他団体への協力」、次いで「電話相談」であったが、カウンセリング (40%)、直接ケア (33%)、福祉手続き支援 (33%)、裁判支援 (25%)、バディ派遣 (22%)、人権救済 (20%)、リビングセンター (15%)、配食サービス (13%)、通訳 (11%)、シェルターの運営 (5%) など、直接的な支援活動が多くを占めている。また、学習会の開催、パンフレット、インターネット、キルト作成など啓発活動も大きな割合を占めている (図 1-2-1)。

一般市民を対象とする活動内容では、講師派遣 (67%) がもっとも多かった (図 1-2-2)。これらの対象者別の内容を合わせた比較を図 1-2-3 に示す。

特に力を入れている対象は、「PWA/H」が最も多く、次いで「若者」であった (図 1-2-4)